

# 10月例会案内

事務局 栗原せん三 042-676-538

1

「浅川地下壕の保存をすすめる会」と共催

**講演 貝山地下壕 一般公開に至る過程と課題**

**日時 10月16日(土) 13時30分～15時10分**

**講師 昌子住江先生(NPO 法人アクションおっぱま理事長)**

**場所 浅川市民センター体育室 (JR 高尾駅南口から徒歩 7分)**

**マスク着用の上、直接会場にお越しください。**

## 講演内容

横須賀市の貝山地下壕は、公園管理課の許可を得て見学可能であったが、2011年の東日本大震災以降、地下壕の安全性に危惧を抱く横須賀市により、一切入壕禁止となった。貝山地下壕の一般公開再開を求める声は多かったが、地下壕の安全性の確認や公開に向けての必要な整備などが課題となった。

地下壕の安全性と必要な整備についての専門調査は(公社)地震工学会が行うこととなり、調査結果について市や市長に公開する機会も得られた。公開に向けての整備事業を進める手がかりとしては、横須賀市の地域まちづくり推進施策である地域運営協議会を活用することとなった。追浜地域運営協議会では部会を設置し、行政と関係地域団体により公開に向けての具体的な検討を進め、2021年4月一般公開の再開に至った。公開部分は一部であり課題も残されているが、まずは第一歩を踏み出したと言える。その取り組みの様子を講演していただきます。

## 講師プロフィール

1947年東京生まれ。元関東学院大学工学部教授。専攻は都市計画・まちづくり、土木史。都市計画コンサルタントを経て、1990年から関東学院大で教鞭をとる。2003年度より現場に学ぶ演習で横須賀市追浜に「まちなか研究室」を開設。また各地の歴史的街並み保存にも関わる。2008年関東学院大学を早期退職し、NPO法人アクションおっぱまを拠点に追浜のまちづくり等実践活動に重心を移す。著書に『四谷見附橋物語』（技報堂出版 共著）『未完の東京計画』（筑摩書房 共著）等。

## 当日の日程

- 13時20分 受付開始
- 13時30分 記念講演開始
- 15時10分 記念講演終了
- 15時10分～20分

